

## 2020年11月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 川上塗料株式会社  
 コード番号 4616 URL <http://www.kawakami-paint.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 泰通  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 松下 田佳子

TEL 06-6421-6325

定時株主総会開催予定日 2021年2月19日 配当支払開始予定日 2021年2月22日

有価証券報告書提出予定日 2021年2月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年11月期の連結業績(2019年12月1日～2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期	4,880	15.0	62		10	96.0	2	
2019年11月期	5,741	0.9	206	14.9	268	7.8	198	9.8

(注) 包括利益 2020年11月期 58百万円 ( %) 2019年11月期 308百万円 (147.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年11月期	2.52		0.1	0.1	1.3
2019年11月期	199.75		8.6	3.6	3.6

(参考) 持分法投資損益 2020年11月期 6百万円 2019年11月期 0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期	7,063	2,369	33.5	2,379.12
2019年11月期	7,851	2,452	31.2	2,462.48

(参考) 自己資本 2020年11月期 2,369百万円 2019年11月期 2,452百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年11月期	190	172	66	1,665
2019年11月期	318	199	46	1,714

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年11月期		0.00		25.00	25.00	24	12.5	1.1
2020年11月期		0.00		25.00	25.00	24		1.0
2021年11月期(予想)		0.00		25.00	25.00		56.6	

### 3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,530	3.0	4		21	251.7	15		15.06
通期	5,219	6.9	33		58	444.6	44		44.18

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期	1,000,000 株	2019年11月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2020年11月期	4,061 株	2019年11月期	4,019 株
期中平均株式数	2020年11月期	995,960 株	2019年11月期	996,004 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年11月期の個別業績(2019年12月1日～2020年11月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期	4,817	15.0	71		15	94.1	4	97.8
2019年11月期	5,667	0.8	194	18.5	256	10.5	191	12.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期	4.14	
2019年11月期	192.08	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年11月期	6,952		2,347		33.8	2,355.01		
2019年11月期	7,725		2,416		31.3	2,424.41		

(参考) 自己資本 2020年11月期 2,347百万円 2019年11月期 2,416百万円

2. 2021年11月期の個別業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,498	3.2	0		17	28.2	12	122.7	12.04
通期	5,159	7.1	26		50	232.8	37	796.2	37.12

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が全世界の景気を大幅に悪化させ国内外の経済活動に多大な影響を与えました。経済活動の段階的な再開により景気の持ち直しが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の収束については予断を許さず、依然として先の見えない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の需要が大幅に減退する中、既存取引先各社との連携を密にすることや新規需要の掘り起こしに尽力し、不要不急の経費削減を敢行して業績の悪化に対処しました。

結果として、当連結会計年度における売上高は4,880百万円（前年同期比15.0%減）、経常利益は10百万円（前年同期比96.0%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益198百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は787百万円減少して7,063百万円となりました。減少の主なものは、受取手形及び売掛金の減少628百万円、投資有価証券の減少70百万円であります。

#### (負債)

負債は704百万円減少して4,694百万円となりました。減少の主なものは、支払手形及び買掛金の減少564百万円、未払法人税等の減少37百万円であります。

#### (純資産)

純資産は83百万円減少して2,369百万円となりました。減少の主なものは、利益剰余金の減少27百万円、その他有価証券評価差額金の減少48百万円であります。その結果、自己資本比率は2.3ポイント増加し33.5%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの概況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は190百万円（前連結会計年度は318百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の減少628百万円、減価償却費136百万円、仕入債務の減少564百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は172百万円（前連結会計年度は199百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の増強・維持更新のための有形固定資産の取得による支出141百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は66百万円（前連結会計年度は46百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出515百万円、配当金の支払額25百万円等によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は1,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しといたしまして、景気の不透明な状況が続く見込みではありますが、当期同様、将来に向けての需要の掘り起こしや市場開拓に注力し、不要な経費の削減を行い財務基盤の強化に努め、全社一丸となって対応して参ります。

なお、現時点における2021年11月期の業績予想は次の通りです。

(単位：百万円)

	連結	個別
売上高	5,219	5,159
営業利益	33	26
経常利益	58	50
当期純利益	44	37

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、業績推移、設備投資や研究開発など将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保の充実を考慮し、業績に応じた利益配分をすることを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による業績低迷で当期純利益は前期実績を大きく下回る結果となってしまいましたが、株主還元を重視し、期首の配当予想額通り1株当たり25円といたします。

次期につきましては、厳しい環境が想定されますが、景気の緩やかな回復を見込み、1株当たり25円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社等との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,714,005	1,665,403
受取手形及び売掛金	2,497,291	1,869,019
商品及び製品	785,770	756,737
仕掛品	41,196	33,973
原材料及び貯蔵品	258,473	260,121
未収還付法人税等	—	28,707
その他	40,261	42,420
流動資産合計	5,336,998	4,656,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,756	355,711
機械装置及び運搬具（純額）	297,690	290,199
土地	711,282	757,697
リース資産（純額）	38,604	23,326
その他（純額）	180,615	64,153
有形固定資産合計	1,568,950	1,491,088
無形固定資産		
投資その他の資産	3,719	32,867
投資有価証券	808,710	737,995
長期預け金	19,944	19,552
繰延税金資産	106,373	117,283
その他	6,316	8,446
投資その他の資産合計	941,345	883,277
固定資産合計	2,514,014	2,407,234
資産合計	7,851,013	7,063,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,887,854	1,323,720
短期借入金	1,204,623	1,172,116
未払費用	298,295	284,665
未払法人税等	38,601	1,003
その他	169,184	92,595
流動負債合計	3,598,558	2,874,101
固定負債		
長期借入金	812,895	820,012
リース債務	24,201	8,159
役員退職慰労引当金	81,770	—
退職給付に係る負債	765,656	775,684
その他	115,347	216,205
固定負債合計	1,799,870	1,820,061
負債合計	5,398,428	4,694,162
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	1,547,215	1,519,781
自己株式	△8,277	△8,334
株主資本合計	2,080,033	2,052,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,026	361,278
退職給付に係る調整累計額	△37,475	△44,365
その他の包括利益累計額合計	372,551	316,913
純資産合計	2,452,584	2,369,455
負債純資産合計	7,851,013	7,063,617

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
売上高	5,741,928	4,880,826
売上原価	4,641,305	4,077,258
売上総利益	1,100,622	803,568
販売費及び一般管理費	893,657	865,652
営業利益又は営業損失(△)	206,964	△62,083
営業外収益		
受取利息	23	18
受取配当金	23,526	23,470
持分法による投資利益	803	—
技術権利料	20,275	14,779
受取保険金	23,292	21,037
助成金収入	2,380	22,251
その他	2,535	7,295
営業外収益合計	72,836	88,853
営業外費用		
支払利息	9,577	9,252
持分法による投資損失	—	6,288
その他	2,198	578
営業外費用合計	11,775	16,119
経常利益	268,025	10,649
税金等調整前当期純利益	268,025	10,649
法人税、住民税及び事業税	75,763	5,178
法人税等調整額	△6,687	7,983
法人税等合計	69,076	13,162
当期純利益又は当期純損失(△)	198,948	△2,512
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	198,948	△2,512



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	198,948	△2,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,211	△48,748
退職給付に係る調整額	△996	△6,889
その他の包括利益合計	109,214	△55,637
包括利益	308,162	△58,150
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	308,162	△58,150
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	41,095	1,373,190	△8,194	1,906,090
当期変動額					
剰余金の配当			△24,922		△24,922
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			198,948		198,948
自己株式の取得				△82	△82
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	174,025	△82	173,942
当期末残高	500,000	41,095	1,547,215	△8,277	2,080,033

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	299,815	△36,478	263,336	2,169,427
当期変動額				
剰余金の配当				△24,922
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				198,948
自己株式の取得				△82
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	110,211	△996	109,214	109,214
当期変動額合計	110,211	△996	109,214	283,157
当期末残高	410,026	△37,475	372,551	2,452,584

当連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	41,095	1,547,215	△8,277	2,080,033
当期変動額					
剰余金の配当			△24,921		△24,921
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△2,512		△2,512
自己株式の取得				△57	△57
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△27,434	△57	△27,491
当期末残高	500,000	41,095	1,519,781	△8,334	2,052,542

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	410,026	△37,475	372,551	2,452,584
当期変動額				
剰余金の配当				△24,921
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）				△2,512
自己株式の取得				△57
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△48,748	△6,889	△55,637	△55,637
当期変動額合計	△48,748	△6,889	△55,637	△83,129
当期末残高	361,278	△44,365	316,913	2,369,455

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	268,025	10,649
減価償却費	129,747	136,679
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,139	△81,770
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,731	100
受取利息及び受取配当金	△23,549	△23,489
支払利息	9,577	9,252
受取保険金	△23,292	△21,037
助成金収入	△2,380	△22,251
為替差損益 (△は益)	323	228
持分法による投資損益 (△は益)	△803	6,288
売上債権の増減額 (△は増加)	△221,129	628,271
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,657	34,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	179,014	△564,133
その他	27,702	93,624
小計	368,485	207,021
利息及び配当金の受取額	23,674	23,614
利息の支払額	△9,194	△9,557
法人税等の支払額	△90,621	△67,415
保険金の受取額	23,292	21,037
助成金の受取額	2,380	15,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,015	190,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△201,229	△141,823
無形固定資産の取得による支出	—	△30,384
投資有価証券の取得による支出	△360	△360
その他	2,282	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,307	△172,478
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	△10,000
長期借入れによる収入	580,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△432,446	△515,390
リース債務の返済による支出	△16,042	△16,042
配当金の支払額	△24,864	△25,061
その他	△26	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,620	△66,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△319	△221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165,009	△48,601
現金及び現金同等物の期首残高	1,548,996	1,714,005
現金及び現金同等物の期末残高	1,714,005	1,665,403

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (表示方法の変更)

## (連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた4,915千円は、「助成金収入」2,380千円及び「その他」2,535千円として組み替えております。

前連結会計年度において独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」に表示していた「固定資産除却損」1,604千円及び「その他」593千円は、「その他」2,198千円として組み替えております。

## (連結キャッシュ・フロー計算書)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」における「助成金収入」および「助成金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「助成金収入」△2,380千円及び「助成金の受取額」2,380千円を独立掲記するとともに、「小計」370,865千円を368,485千円に変更しております。

前連結会計年度において独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産除却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「有形固定資産除却損」1,604千円及び「その他」26,097千円は、「その他」27,702千円として組み替えております。

## (追加情報)

## (役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2020年1月14日開催の取締役会において、2020年2月21日開催の定時株主総会終結時をもって、役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分99,633千円を、「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

## (新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響については、今後の収束時期等を予測することは困難な状況にありますが、需要は緩やかに回復し翌連結会計年度より徐々に収束に向かうものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に係る会計上の見積りを行っております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)及び当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは塗料の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2018年12月1日 至 2019年11月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年12月1日 至 2019年11月30日）及び当連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年12月1日 至 2019年11月30日）及び当連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年12月1日 至 2019年11月30日）及び当連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり純資産額	2,462.48円	2,379.12円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	199.75円	△2.52円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式がないため記載をしておりません。
2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載をしておりません。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	198,948	△2,512
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	198,948	△2,512
普通株式の期中平均株式数(株)	996,004	995,960

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

## ①代表者の変動

該当事項はありません。

## ②その他の役員の変動 (2021年2月19日予定)

## 1. 取締役の変動

## a. 新任取締役候補

取締役

佐々木 圭史 (現 営業本部部長)

社外取締役

檀上 秀逸 (現 当社社外監査役、公認会計士 (檀上秀逸事務所))

## b. 退任予定取締役

取締役

野村 眞一

社外取締役

坪田 実

## 2. 監査役の変動

## a. 新任監査役候補

社外監査役

大松 信貴 (現 公認会計士 (大松信貴事務所))

## b. 退任予定監査役

社外監査役

檀上 秀逸